

地域の先駆的取り組みが発表された3つの分科会

分科会1 地域支えあい活動フォーラム

地域力UP！支えあい活動からはじまる地域づくり



分科会1では、「地域支えあい事業」において市内の小中学校区ごとで取り組まれている地域住民による支えあいや助け合い活動の事例の発表を行いました。

一人ひとりが抱えている困りごとを地域全体の課題として取り組んでいくために、身近な地域に相談窓口があることの意義や活動を通して見えてきた新たな課題などを地域住民同士で共有することの大切さ、区社会福祉協議会やいきいき支援センターなど専門機関との連携の必要性などを学びあいました。

【発表】東区筒井学区「筒井おたすけ隊」 熱田区白鳥学区地域福祉推進協議会
守山区本地丘学区地域福祉推進協議会 【コーディネーター】中村弘佳（名古屋市社会福祉協議会）

分科会2 ふれあい・いきいきサロン推進セミナー

ふれあい・いきいきサロンで創る地域福祉の多様な展開



分科会2では、市内でサロン活動を通して誰もが住みよい地域づくり・つながりづくりを進めている団体の事例について発表がありました。これからのサロンに必要なこととして、元気な方だけでなく、引きこもりがちの方が参加しやすい工夫やサロンの中で困りごとを相談し合い、助けあいや見守りの仕組みをいかに作っていくかが大切であることを学びました。

【発表】西区稲生学区「モーニングサロン「いこい」、特定非営利活動法人かたひらかたろう
特定非営利活動法人 すけっとファミリー 【コーディネーター】松端克文氏（桃山学院大学教授）

分科会3 なごやか地域福祉2015セミナー

つながる広がるなごやの地域福祉～平常時から地域で備える災害への取り組み～



分科会3では、熊本地震の被災地域での状況も踏まえ、日ごろ地域の中で実践している取り組みやその中で見えてきた課題などについて深めていきました。

コーディネーターや登壇者の方から災害発生時には住民・ボランティア・地域全体がお互いに支えあうことが大切であり、そのためには、日ごろから災害時要援護者についての情報を把握・整理しておくこと、いざという時のために日頃から住民同士が顔の見える関係だけでなく心の通う関係づくりを進めていくことが大切であるということを知り学びました。

【発表】南区桜学区連絡協議会、災害ボランティアコーディネーターなごや 椿氏
【コーディネーター】認定NPO法人レスキューストックヤード 栗田暢之氏

【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会総務部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367